

メンバー表

ジャパンラグビートップチャレンジリーグ2018 1stステージ 第6週

2018/10/27
14:00 Kick Off
コカ・BJIスタ

マツダブルーズーマーズ (Host)			九州電力キューデンヴォルテクス (Visitor)		
合計得点	前半	後半	前半	後半	合計得点
			T		
			G		
			PT		
			PG		
			DG		
			計		

レフリー
アシスタントレフリー

マツダブルーズーマーズ						
#	Pos.	氏 名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	ナカンダカリ 雄一		24	176/115	読谷高校 → 朝日大学
2	HO	北林 佑介		23	172/103	東海大学付属仰星高校 → 帝京大学
3	PR	大木 丈典		31	179/118	國學院栃木高校 → 帝京大学
4	LO	中居 智昭		37	186/98	熊本工業高校
5	LO	フィル・ポットギータ	E	23	194/112	クインズランド大学
6	FL	芦田 朋輝		23	183/106	名南工業高校 → 愛知工業大学
7	FL	柏田 裕紀		28	181/98	延岡工業高校
8	No.8	ティタ・コロアマタ・ンギ	F	30	189/105	ネイランド大学
9	SH	後藤 大		25	167/73	東福岡高校 → 立命館大学
10	SO	齊藤 遼太郎		25	174/85	東海大仰星高校 → 天理大学
11	WTB	三好 啓太		34	174/78	松山商業高校 → 帝京大学
12	CTB	サム・クリスティアー	E	32	181/95	ハミルトンボーイズ高校
13	CTB	ジョー・カマナ	E	27	194/96	フェイザー高校
14	WTB	ワイセア・ラワプカ	E	27	189/101	スパ・グラマー高校
15	FB	李 修平	A	29	180/90	日新高校 → 大阪体育大学
16	Re.	永田 亮		23	169/90	同志社大学 → 同社社大学
17		重信 滉史郎		23	175/98	高鍋高校 → 朝日大学
18		石上 裕一		29	175/95	東海大仰星高校 → 東海大学
19		南 宗成	A	26	188/105	大阪朝鮮高級学校 → 明治大学
20		辰川 翔		29	181/78	広島工業高校 → 日本体育大学
21		森 悠記		30	165/70	東山高校 → 関東学院大学
22		金丸 勇人		24	172/70	天理高校 → 天理大学
23		崎口 銀二郎		23	178/82	大阪桐蔭高校 → 同志社大学

九州電力キューデンヴォルテクス						
#	Pos.	氏 名	資格	年齢	身長/体重	出身/所属
1	PR	池田 圭治		31	178/113	諫早農業高校 → 福岡工業大学
2	HO	仲西 良太		32	174/101	東福岡高校 → 明治大学
3	PR	廣畑 光太郎		30	177/112	桐蔭学園高校 → 慶應義塾大学
4	LO	園中 良寛		27	189/107	加治木高校 → 筑波大学
5	LO	浦 真人		34	190/106	大分舞鶴高校 → 同志社大学
6	FL	高井 迪郎		28	187/96	大分舞鶴高校 → 日本体育大学
7	FL	平田 一真		30	177/94	九州学院高校 → 関東学院大学
8	No.8	中村 元気		25	176/98	佐賀工業高校
9	SH	児玉 大輔		27	166/74	日向高校 → 流通経済大学
10	SO	松下 真七郎		25	177/89	福岡高校 → 筑波大学
11	WTB	末藤 雅宣		34	183/95	荒尾高校 → 福岡工業大学
12	CTB	中づる(雨冠に佳・鳥の順) 憲章		29	181/98	福岡高校 → 筑波大学
13	CTB	黒木 健人		23	179/87	高鍋高校 → 早稲田大学
14	WTB	早田 健二		31	175/81	大分舞鶴高校 → 早稲田大学
15	FB	加藤 誠央		28	176/90	萩商工高校 → 福岡大学
16	Re.	木付 丈博		23	182/88	荒尾高校 → 帝京大学
17		鹿子島 良輔		23	168/80	輝翔館中等教育学校 → 流通経済大学
18		徳永 一斗		25	180/120	佐賀工業高校 → 帝京大学
19		山下 和人		32	192/94	
20		山田 有樹		24	180/80	常翔学園高校 → 同志社大学
21		小森 光太郎		29	165/75	長崎北陽台高校 → 同志社大学
22		高屋 直生		23	175/70	福岡高校 → 筑波大学
23		磯田 泰成		25	173/76	延岡星雲高校 → 帝京大学

* 背番号の白抜きはキャプテン * 資格は F:外国籍、A:アジア、E:特別 * メンバーは変更になる場合があります。メンバーボードをご確認下さい。

『FOR ALL, FOR EARTH. 日本ラグビー協会は、いつも環境に配慮した活動をめざしています』